



グローバル・ロボティクス株式ファンド

(1年決算型)/(年2回決算型)/

(為替ヘッジあり・1年決算型)/(為替ヘッジあり・年2回決算型)

2026年1-3月の運用状況と
今後の見通し

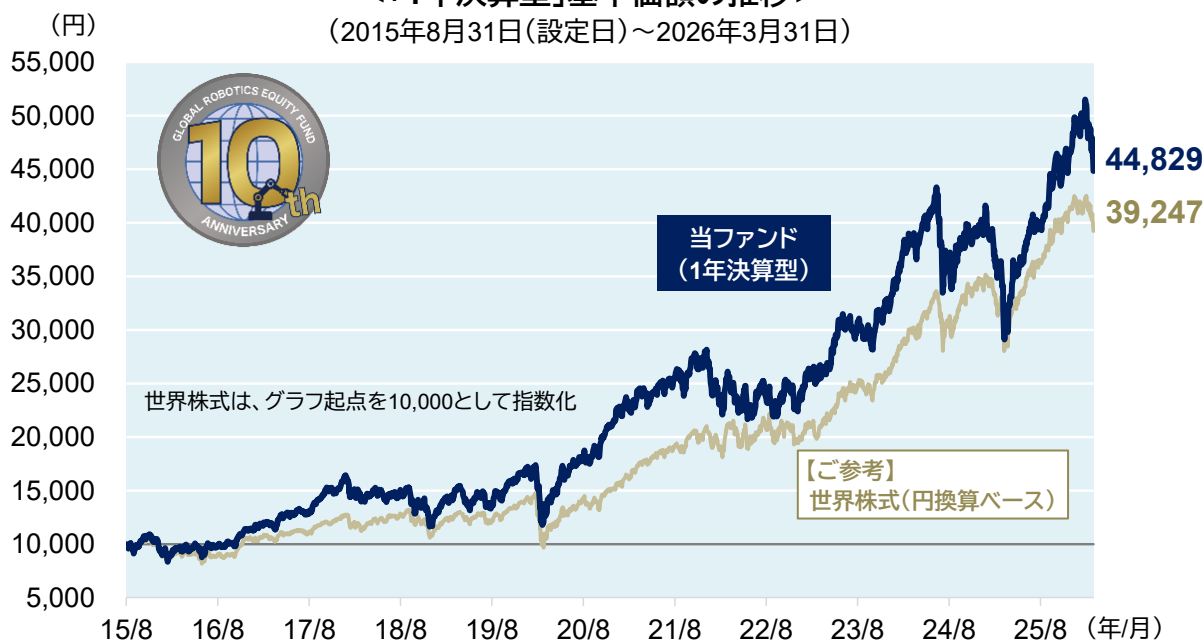
本レポートでは、2026年1-3月の運用状況と今後の見通しについて、当ファンドの投資顧問会社であるラザード・アセット・マネージメント・エルエルシー（以下、ラザード社）の見解をもとにご紹介いたします。

本レポート
の構成

- ファンドの振り返り
 - 2026年1-3月の運用状況
 - 銘柄別寄与度分析
 - (ご参考)2026年1-3月の主な寄与銘柄のご紹介
- ラザード社による今後の見通し
- ご参考:長期的な資産形成を目指す“積立投資”のススメ

<「1年決算型」基準価額の推移>

(2015年8月31日(設定日)~2026年3月31日)



※基準価額は信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の1万口当たりの値です。

※世界株式:MSCIワールド指数(税引後配当込み、米ドルベース)をアモーヴァ・アセットマネジメントが円換算。なお、基準価額の算出方法に対応させるため、前営業日の値に当日の為替を適用して算出。上記指数は当ファンドのベンチマークではありません。

(信頼できると判断したデータをもとにアモーヴァ・アセットマネジメントが作成)

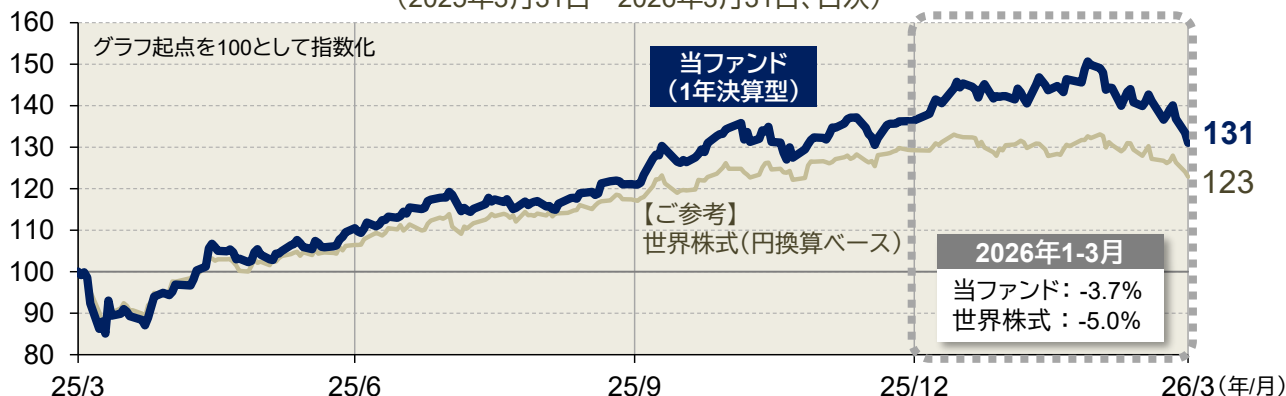
※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

ファンドの振り返り①:2026年1-3月の運用状況

中東情勢の緊迫化に伴うインフレ再燃懸念を背景に、当ファンドも下落

- 2026年1-3月の世界株式は、AI(人工知能)関連銘柄の調整局面から弱含む場面も見られたものの、米景気の底堅さや、日本の衆院選で与党が大勝したことによる政策期待を背景に、2月後半にかけて上昇しました。しかし、2月末の米国・イスラエルによるイラン攻撃を契機に中東情勢が緊迫化すると、原油価格の急騰などを受けてインフレ再燃懸念が強まり、3月末にかけて下落しました。
- 当ファンドは、AI関連のハイテク株が調整する局面においても、自動化・自律化の進展からの恩恵が期待される銘柄を中心に堅調に推移しました。しかし3月に入り、中東情勢の緊迫化によって投資家心理が悪化すると、下落に転じました。

【1年間の基準価額推移】
(2025年3月31日～2026年3月31日、日次)



※基準価額は信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の値です。

※世界株式:MSCIワールド指数(税引後配当込み、米ドルベース)をアモーヴァ・アセットマネジメントが円換算。なお、基準価額の算出方法に対応させるため、前営業日の値に当日の為替を適用して算出。上記指数は当ファンドのベンチマークではありません。

【1年間の主な出来事】

2025年4-6月	2025年7-9月	2025年10-12月	2026年1-3月
<ul style="list-style-type: none"> ・トランプ米大統領が相互関税を発表 ・AIに関連した大手ハイテク企業の好調な決算 ・イスラエルとイランの停戦合意 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本、EU(欧州連合)がそれぞれ、米国と関税交渉で妥結 ・米国での追加利下げ ・生成AI関連の設備投資活況に伴う、同分野への成長期待拡大 	<ul style="list-style-type: none"> ・米利下げへの期待継続 ・各国主要企業の好調な決算 ・日本、高市政権の発足とハト派的な金融政策への期待 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本、衆院総選挙後の政策期待 ・AIによって業務が代替され、既存ソフトが競争力を失うとの懸念 ・中東情勢の緊迫化を受けたインフレ再燃懸念

【ご参考】世界株式と当ファンドの主要関連セクターの四半期騰落率(円換算ベース)

2025年4-6月		2025年7-9月		2025年10-12月		2026年1-3月	
情報技術	17%	情報技術	16%	ヘルスケア	20%	資本財・サービス	1%
コミュニケーション・サービス	14%	コミュニケーション・サービス	15%	コミュニケーション・サービス	10%	世界株式	-5%
資本財・サービス	9%	一般消費財・サービス	11%	世界株式	10%	ヘルスケア	-5%
世界株式	6%	世界株式	10%	情報技術	9%	コミュニケーション・サービス	-9%
一般消費財・サービス	6%	資本財・サービス	7%	資本財・サービス	9%	情報技術	-12%
ヘルスケア	-8%	ヘルスケア	4%	一般消費財・サービス	7%	一般消費財・サービス	-12%

※世界株式:MSCIワールド指数(税引後配当込み、米ドルベース)、および同指数の業種別指数(税引後配当込み、米ドルベース)をアモーヴァ・アセットマネジメントが円換算。なお、基準価額の算出方法に対応させるため、前営業日の値に当日の為替を適用して算出。上記指数は当ファンドのベンチマークではありません。

※上記は指数の騰落率であり、当ファンドの組入銘柄の騰落率ではありません。

(信頼できると判断したデータをもとにアモーヴァ・アセットマネジメントが作成)

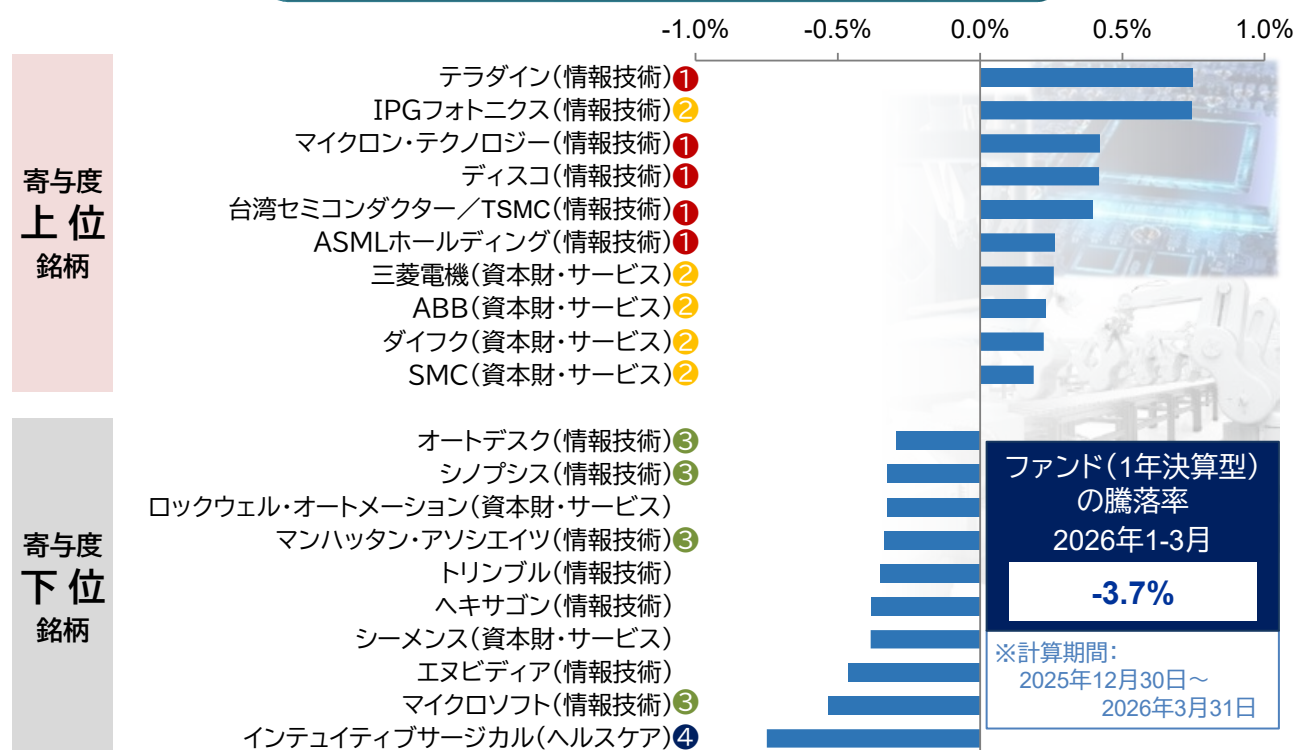
※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

ファンドの振り返り②: 銘柄別寄与度分析

マクロ環境などの影響を受けながらも、自動化・自律化関連銘柄は底堅く推移

- 2026年1-3月の当ファンド(1年決算型)の騰落率は、-3.7%となりました。
- 当ファンドでは、半導体や自動化・自律化関連銘柄に底堅さがみられた一方、AIの急速な進展を背景に、将来性が懸念された一部のソフトウェア関連銘柄の株価が調整したほか、規制などの影響からヘルスケア関連銘柄が軟調となり、マイナスに寄与しました。

銘柄別パフォーマンス寄与度(2026年1-3月)



※カッコ内は、GICS(世界産業分類基準)によるセクター分類を表示しています。

※写真はすべてイメージです。

From LAZARD ~ラザード・コメント~

1-3月の世界株式は、3月の原油価格急騰や、インフレ再燃懸念に伴う米国利下げ観測後退による市場の調整を受け、下落しました。当ファンドのパフォーマンスも、相対的に小幅にとどまったものの、マイナスとなりました。

銘柄別では、好調な半導体関連企業(①)や、フィジカルAI*分野で重要な役割を果たしていくと思われる企業(②)が堅調に推移しプラスに寄与しました。一方、AIの急速な進展を受け、AIに業務代替される懸念が生じたソフトウェア関連銘柄(③)が軟調となったほか、関税問題や規制に対する懸念が意識された医療機器関連企業(④)の株価下落がマイナスに寄与しました。

*現実世界の物理的な法則や環境を理解し、ロボットが周囲の環境の変化に対応して自動的に動けるようにするなどのAIシステム

●寄与度は、上記期間中の基準価額の変動において、各銘柄の変動がどれだけ影響しているかを示したものです。また、実際の基準価額の騰落に対する寄与度を正確に説明するものではありません。傾向を知るための参考値としてご覧ください。●各銘柄の日次の保有比率および株価を基に為替変動などを考慮して計算した概算値であり、実際の取引価格やファンドが負担するコスト(売買手数料や信託報酬など)などは考慮されていません。なお、当ファンドにおける各銘柄の保有期間は異なります。●上記銘柄について、**売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当ファンドにおける将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆・保証するものでもありません。**

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

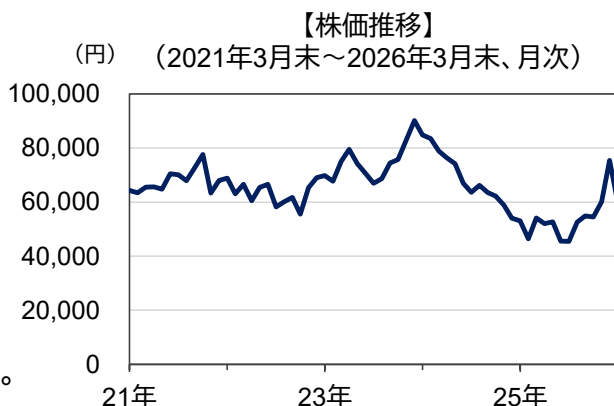
ファンドの振り返り③： (ご参考)2026年1-3月の主な寄与銘柄のご紹介

- 2026年1-3月の主な寄与銘柄の中から、一部についてご紹介します。

SMC

国・地域／日本 業種／資本財・サービス

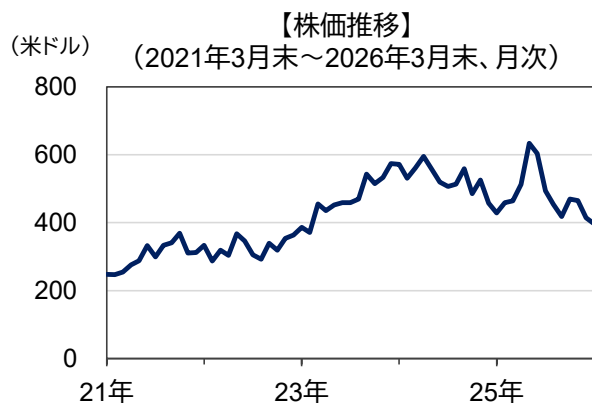
- 空圧制御機器におけるリーディング企業です。圧縮空気を動力源として、モノを押す・つかむ・回すといった、人の手に代わるような作業を可能とする同社の技術は、世界中の工場で使用され、産業界に大きく貢献しています。
- フィジカルAIにおいて、アクチュエータ(モノを動かす機能)は、センサー、AI制御と並ぶ重要な要素です。ラザード社では、アクチュエータの一つである空圧制御機器に強みを持つ同社に注目しています。



シノプシス

国・地域／米国 業種／情報技術

- 半導体の設計から製造に至るまでの工程をカバーする、電子設計自動化(EDA)ソフトウェアの世界的リーダー企業です。
- ラザード社では、フィジカルAIを支えるインフラとして、半導体業界の重要性に引き続き注目しています。なかでも、電子設計自動化ソフトウェア分野をけん引する同社に注目しています。



シーメンス

国・地域／ドイツ 業種／資本財・サービス

- 工場の自動化機器を制御するコントローラーや、電力ネットワーク機器を提供する世界的な企業です。また、現実空間のデータを基に仮想空間上に同じものを再現し、モニタリングやシミュレーションを行なう、デジタルツイン技術も提供しています。
- ラザード社では、フィジカルAIの社会実装においてはデジタルツイン技術がより重要になると考えていることから、同社に注目しています。



※業種はGICS(世界産業分類基準)によるセクター分類です。

※上記銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当ファンドにおける将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆・保証するものでもありません。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

ラザード社による今後の見通し

LAZARD
ASSET MANAGEMENT

中東情勢の緊迫化により、 あらためて意識されるサプライチェーン多様化の重要性

2月末から始まった米国・イスラエルによるイラン攻撃から1ヶ月が過ぎました。この間、原油価格が急騰したことから、インフレ再燃懸念が強まり、米国の利下げ観測は後退しました。4月上旬には、米国・イラン両国が2週間の停戦で合意しましたが、その先行きは依然として不透明な状況です。

今回、ホルムズ海峡の封鎖によって中東からの原油出荷が停止したことは、あらためてサプライチェーンの多様化の重要性を各国・各企業に思い起こさせました。コロナ禍以降、サプライチェーンの中国依存から脱却する動きが継続していますが、今後は中東産原油への過度な依存から脱却しようという動きも加わると考えられます。こうした新しいサプライチェーンを構築する動きは、自動化への追い風となると期待しています。

AIエージェントの登場で、変化が見込まれるソフトウェア業界の構図

米AI企業が発表した高度なAIエージェント*によって、法律や金融などといった専門的な業務の自動化が可能となったことで、既存のソフトウェア企業の提供するサービスが代替・淘汰される懸念が米国株式市場を中心に広がっています。AIの急速な進化を考えると、この懸念のうち、ある程度は現実のものになると思われれます。一方で、業界特有の経験値や高いレベルの正確性が求められる分野は、こうした動きの対象とはならないとも考えています。足元では、こうした懸念によって過剰に売られすぎた銘柄もあると考えており、調査分析を進めています。

*ユーザーに代わって、目標を達成するための最適手段を自律的に選択しタスクを遂行するAIシステム

生産の国内回帰への再認識が後押しする、フィジカルAIの社会実装

高度なAIによって制御されたハードウェアであるフィジカルAIが、先進国が直面する人手不足に代表されるような社会課題を解決してくれることへの期待は、イラン攻撃や原油価格高騰などといった環境下においても変わりません。むしろ、生産の国内回帰の重要性が改めて認識される中で、フィジカルAIへの期待はさらに高まっているとも考えています。

工場や倉庫内で活躍が始まっているAMR(自律的にモノを運ぶ搬送フィジカルAI)、プログラム通りに動かすのではなく“自律的に”駆動する産業ロボット、そして実装は少し先になると思われますが、開発・大量生産の期待が高まる人型ロボットなど、多様なフィジカルAIは、今後徐々に社会実装されることで、私たちが直面する社会課題を解決していくことでしょう。

こうした技術進化のトレンドは、マクロ環境によって変わるものではありません。そのため、中長期において変わらない人口動態の中で、ロボティクス関連産業への追い風は、強まることはあっても、衰えることはないと考えています。

※本資料は、ラザード社からのコメントなどをもとにアモーヴァ・アセットマネジメントが作成したものです。コメントは、資料作成時点における市場環境ならびに今後の運用方針等について、運用担当者の見解などを記載したものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。また、運用方針は変更される場合があります。

ご参考:長期的な資産形成を目指す“積立投資”のススメ

- 投資信託への投資手法には、一度に全額を投資する手法(一括投資)のほかに、投資時期を分ける手法(時間分散)や、定時定額で投資する手法(積立投資)があります。
- 定期的に一定金額で購入を行なう「積立投資」では、基準価額が低い局面ではより多くの口数を購入し、基準価額が高い局面ではより少ない口数を購入することになるため、購入価額が平準化されます(ドルコスト平均法)。基準価額が上下に振れながらも最終的に上昇した場合、時間分散による投資効果が期待されます。

【当ファンド(1年決算型)に積立投資*した場合のシミュレーション】
(2015年8月末～2026年3月末、月次)



【ご参考:当ファンド(1年決算型)の基準価額の推移】
(2015年8月31日(設定日)～2026年3月31日、日次)



※ 上記グラフ・データは過去のものおよびシミュレーションであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

なお、手数料や税金などの費用は考慮していません。

※ 上記は、当ファンド(1年決算型)に対して、各月末に積立投資を続けた場合の時価評価の推移を示したシミュレーションであり、積立投資が必ず利益があがることを保証するものではありません。

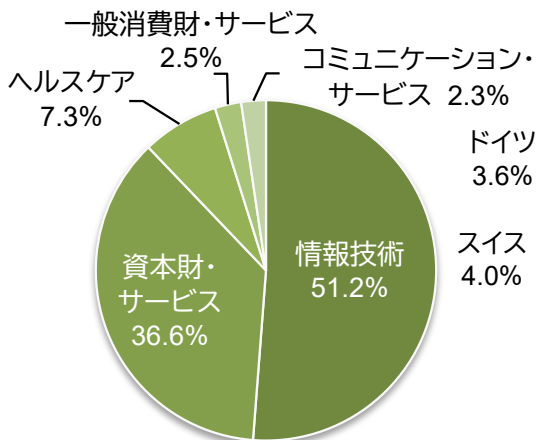
※ 基準価額は信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の1万口当たりの値です。

※ 世界株式:MSCIワールド指数(税引後配当込み、米ドルベース)をアモーヴァ・アセットマネジメントが円換算。なお、基準価額の算出方法に対応させるため、前営業日の値に当日の為替を適用して算出。上記指数は当ファンドのベンチマークではありません。

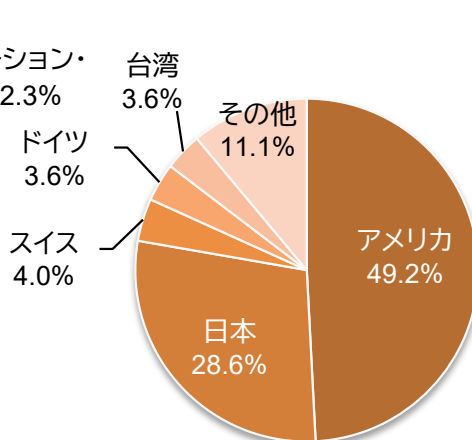
(信頼できると判断したデータをもとにアモーヴァ・アセットマネジメントが作成)

ポートフォリオの概要(2026年3月末現在)

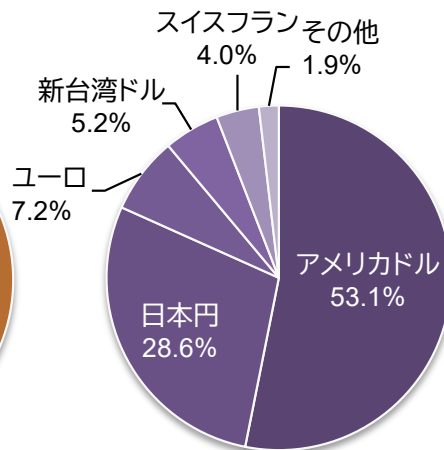
業種別比率



国別比率



通貨別比率



組入上位10銘柄 (組入銘柄数:52銘柄)

	銘柄	国名	業種	比率
1	NVIDIA CORP エヌビディア	アメリカ	情報技術	4.9%
2	ABB LTD-REG ABB	スイス	資本財・サービス	4.0%
3	INTUITIVE SURGICAL INC インテュイティブサージカル	アメリカ	ヘルスケア	4.0%
4	SIEMENS AG-REG シーメンス	ドイツ	資本財・サービス	3.6%
5	ROCKWELL AUTOMATION INC ロックウェル・オートメーション	アメリカ	資本財・サービス	3.6%
6	TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFAC 台湾セミコンダクター(TSMC)	台湾	情報技術	3.6%
7	三菱電機	日本	資本財・サービス	3.5%
8	キーエンス	日本	情報技術	3.2%
9	TERADYNE INC テラダイン	アメリカ	情報技術	3.1%
10	ダイフク	日本	資本財・サービス	2.9%

※上記の各数値はグローバル・ロボティクス株式マザーファンドの状況で、組入株式時価総額比です。

各比率は四捨五入しており合計が100%とならない場合があります。

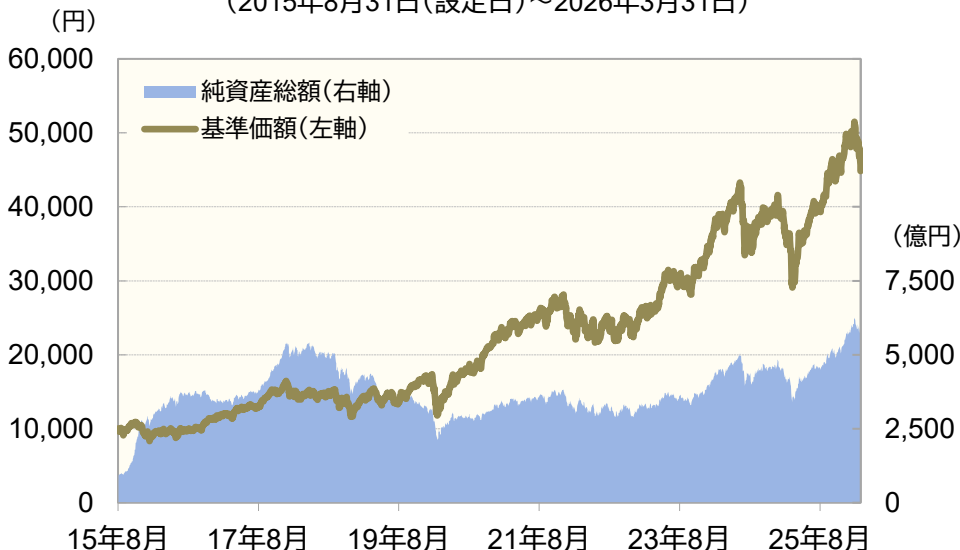
※「組入上位10銘柄」は、個別銘柄の取引を推奨するものでも、将来の組入れを保証するものでもありません。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

基準価額と純資産総額の推移①

1年決算型

(2015年8月31日(設定日)～2026年3月31日)



<分配金実績(直近5期)>

2021年7月	0円
2022年7月	0円
2023年7月	0円
2024年7月	0円
2025年7月	0円
設定来合計	0円

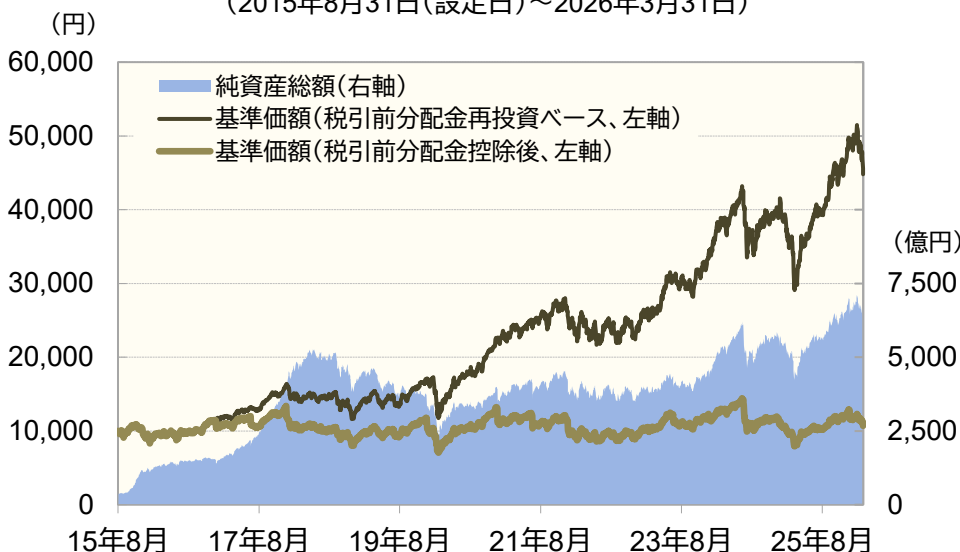
<基準価額>
44,829円

<純資産総額>
5,519億円

(2026年3月31日現在)

年2回決算型

(2015年8月31日(設定日)～2026年3月31日)



<分配金実績(直近5期)>

2024年1月	1,000円
2024年7月	1,500円
2025年1月	1,000円
2025年7月	500円
2026年1月	1,000円
設定来合計	16,550円

<基準価額>
(税引前分配金再投資ベース)
44,792円

(税引前分配金控除後)
10,701円

<純資産総額>
6,242億円

(2026年3月31日現在)

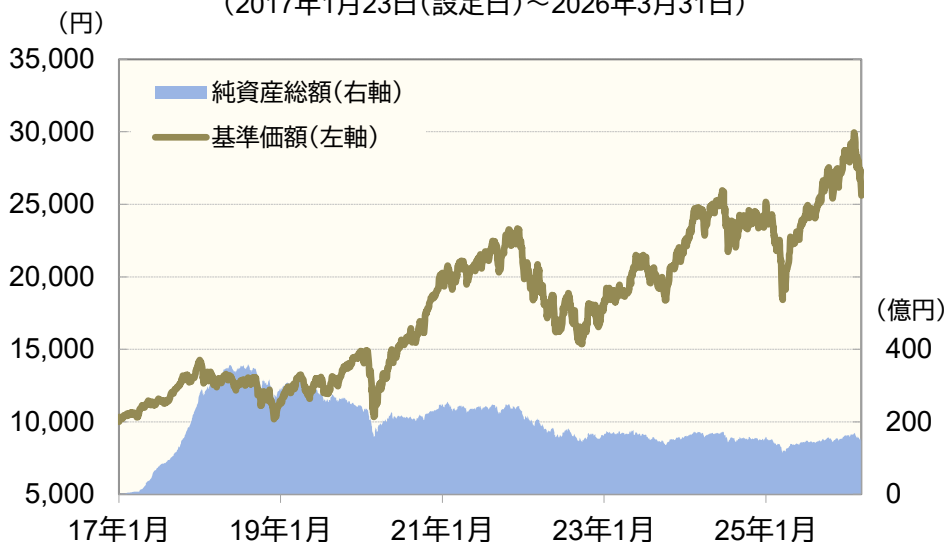
※基準価額は信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後、分配金は税引前の、それぞれ1万口当たりの値です。
 ※税引前分配金再投資ベースとは、税引前分配金を再投資したもものとして計算した理論上のものであることにご留意ください。
 ※分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行わない場合もあります。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

基準価額と純資産総額の推移②

為替ヘッジあり・1年決算型

(2017年1月23日(設定日)～2026年3月31日)



<分配金実績(直近5期)>

2021年7月	0円
2022年7月	0円
2023年7月	0円
2024年7月	0円
2025年7月	0円
設定来合計	0円

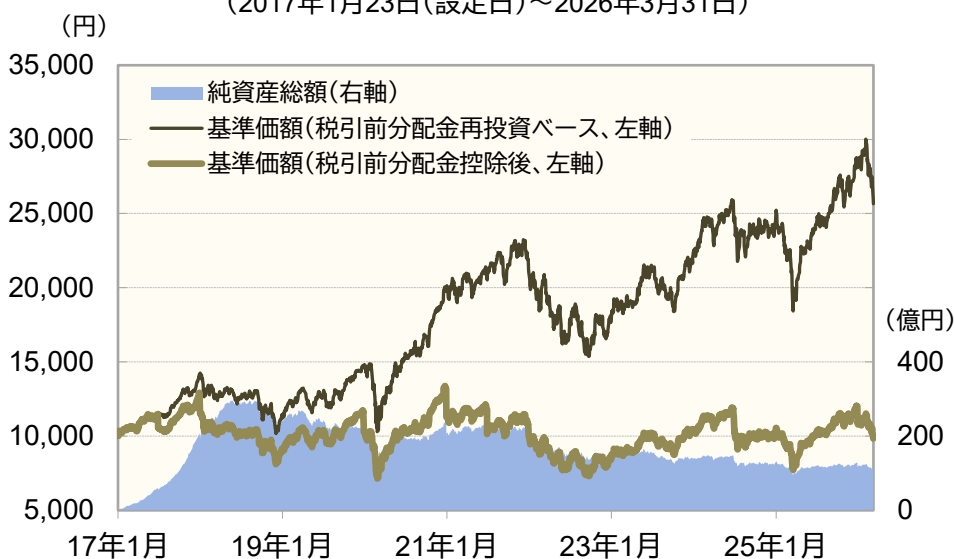
<基準価額>
25,614円

<純資産総額>
144億円

(2026年3月31日現在)

為替ヘッジあり・年2回決算型

(2017年1月23日(設定日)～2026年3月31日)



<分配金実績(直近5期)>

2024年1月	350円
2024年7月	1,000円
2025年1月	0円
2025年7月	0円
2026年1月	1,000円
設定来合計	10,800円

<基準価額>
(税引前分配金再投資ベース)
25,660円

(税引前分配金控除後)
9,842円

<純資産総額>
106億円

(2026年3月31日現在)

※基準価額は信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後、分配金は税引前の、それぞれ1万口当たりの値です。
 ※税引前分配金再投資ベースとは、税引前分配金を再投資したもものとして計算した理論上のものであることにご留意ください。
 ※分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行わない場合もあります。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

ファンドの特色

1. 世界各国の株式の中から主にロボティクス関連企業の株式に投資を行ないます。
2. 銘柄選定は、株式のアクティブ運用に注力するラザード社が、徹底した調査に基づき行ないます。
3. お客様の運用ニーズに応じて、決算頻度や為替ヘッジの有無が異なる4ファンドからお選びいただけます。

市況動向および資金動向などにより、上記のような運用が行なえない場合があります。

お申込みに際しての留意事項

■リスク情報

投資者の皆様は投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者(受益者)の皆様に帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に株式を実質的な投資対象としますので、株式の価格の下落や、株式の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

主なリスクは以下の通りです。

【価格変動リスク】【流動性リスク】【信用リスク】【為替変動リスク】【有価証券の貸付などにおけるリスク】

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

■その他の留意事項

- 当資料は、投資者の皆様は「グローバル・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)／(年2回決算型)／(為替ヘッジあり・1年決算型)／(為替ヘッジあり・年2回決算型)」へのご理解を高めていただくことを目的としてアモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- 分配金は、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した運用収益を超えて支払われる場合があります。投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。
- 投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)などを販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

※当資料に示す各指数の著作権等の知的財産権その他一切の権利は、各指数の算出元または公表元に帰属します。

お申込みメモ

商品分類	追加型投信／内外／株式
購入単位	販売会社が定める単位 ※販売会社の照会先にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
信託期間	<1年決算型>／<年2回決算型> 無期限(2015年8月31日設定) <為替ヘッジあり・1年決算型>／<為替ヘッジあり・年2回決算型> 無期限(2017年1月23日設定)
決算日	<1年決算型>／<為替ヘッジあり・1年決算型> 毎年7月20日(休業日の場合は翌営業日) <年2回決算型>／<為替ヘッジあり・年2回決算型> 毎年1月20日、7月20日(休業日の場合は翌営業日)
購入・換金 申込不可日	販売会社の営業日であっても、購入・換金の申込日がニューヨーク証券取引所の休業日または ニューヨークの銀行休業日に該当する場合は、購入・換金の申込みの受付は行ないません。 詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して6営業日目からお支払いします。

手数料等の概要

投資者の皆様には、以下の費用をご負担いただきます。

<申込時、換金時にご負担いただく費用>

購入時手数料	購入時の基準価額に対し3.85%(税抜3.5%)以内 ※購入時手数料(スイッチングの際の購入時手数料を含みます。)は販売会社が定めます。 詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 ※収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。		
換金手数料	ありません。	信託財産留保額	ありません。

※販売会社によっては、一部のファンドのみの取扱いとなる場合やスイッチングが行なえない場合があります。

<信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用>

運用管理費用 (信託報酬)	ファンドの日々の純資産総額に対し年率1.936%(税抜1.76%)
その他の 費用・手数料	目論見書などの作成・交付および計理等の業務に係る費用(業務委託する場合の委託費用を含みます。)、監査費用、運用において利用する指数の標章使用料などについては、 <u>ファンドの 日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額が 信託財産から支払われます。</u> 組入有価証券の売買委託手数料、資産を外国で保管する場合の費用、借入金の利息、立替金の 利息および貸付有価証券関連報酬(有価証券の貸付を行なった場合は、信託財産の収益と なる品貸料に0.55(税抜0.5)を乗じて得た額)などがその都度、信託財産から支払われます。 ※運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを表示することはできま せん。

※投資者の皆様にご負担いただくファンドの費用などの合計額については、保有期間や運用の状況などに応じて
異なりますので、表示することができません。

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

委託会社、その他関係法人

委託会社	アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号 加入協会:一般社団法人資産運用業協会
投資顧問会社	ラザード・アセット・マネージメント・エルエルシー
受託会社	三井住友信託銀行株式会社
販売会社	販売会社については下記にお問い合わせください。 アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社 [ホームページ]www.amova-am.com [コールセンター]0120-25-1404(午前9時~午後5時。土、日、祝・休日は除く。)

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

1 年 決 算 型	年 2 回 決 算 型	為 替 ヘ ッジ あり ・ 1 年 決 算 型	為 替 ヘ ッジ あり ・ 年 2 回 決 算 型	金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会					
						日 本 証 券 業 協 会	資 産 運 用 業 協 会	一 般 社 団 法 人 協 会	金 融 先 物 取 引 業 協 会	一 般 社 団 法 人 取 引 業 協 会	第 二 種 金 融 商 品 取 引 業 協 会
○	○			アイオー信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第230号					
○	○			アイザワ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第3283号	○		○		○
○	○			株式会社あいち銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第12号	○			○	
○	○			株式会社青森みちのく銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第1号	○				
○	○	○	○	あかつき証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第67号	○	○			
○	○			株式会社秋田銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第2号	○				
○	○			朝日信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第143号	○				
○	○			足利小山信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第217号	○				
○	○			株式会社足利銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第43号	○			○	
○	○			足立成和信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第144号	○				
○	○			尼崎信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第39号	○				
○	○	○	○	株式会社イオン銀行 (委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第633号	○				
○	○			株式会社池田泉州銀行	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第6号	○			○	
○	○			池田泉州IT証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第370号	○				
○	○			今村証券株式会社	金融商品取引業者	北陸財務局長(金商)第3号	○	○			
○	○			株式会社伊予銀行	登録金融機関	四国財務局長(登金)第2号	○			○	
○	○	○	○	岩井コスモ証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第15号	○	○		○	
○	○			株式会社岩手銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第3号	○				
○	○	○	○	SMBC日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2251号	○	○		○	○
○	○	○	○	株式会社SBI証券 ※右の他に一般社団法人日本STO協会にも加入	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○	○		○	○
○	○	○	○	株式会社SBI新生銀行 (委託金融商品取引業者 株式会社SBI証券) (委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第10号	○			○	
○	○			遠州信用金庫	登録金融機関	東海財務局長(登金)第28号				○	
○	○			株式会社大垣共立銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第3号	○				
○	○			大垣西濃信用金庫	登録金融機関	東海財務局長(登金)第29号					
○	○			大川信用金庫	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第19号					
○	○			OKB証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第191号	○				
○	○			大阪シティ信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第47号	○				
○	○			大阪信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第45号					
○	○			大田原信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第219号					
○	○			大牟田柳川信用金庫	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第20号					
○	○			岡崎信用金庫	登録金融機関	東海財務局長(登金)第30号	○				
○	○			岡三証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第53号	○	○		○	○
○	○	○	○	岡地証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第5号	○	○			
○	○	○	○	おかやま信用金庫	登録金融機関	中国財務局長(登金)第19号	○				
○	○			おきぎん証券株式会社	金融商品取引業者	沖縄総合事務局長(金商)第1号	○				
○	○			株式会社沖縄銀行	登録金融機関	沖縄総合事務局長(登金)第1号	○				
○	○			沖縄県労働金庫	登録金融機関	沖縄総合事務局長(登金)第8号	○				
○	○			株式会社香川銀行	登録金融機関	四国財務局長(登金)第7号	○				
○	○			香川証券株式会社	金融商品取引業者	四国財務局長(金商)第3号	○				
○	○			株式会社鹿児島銀行	登録金融機関	九州財務局長(登金)第2号	○				
○	○			株式会社鹿児島銀行 (委託金融商品取引業者 九州FG証券株式会社)	登録金融機関	九州財務局長(登金)第2号	○				
○	○			鹿児島相互信用金庫	登録金融機関	九州財務局長(登金)第26号	○				
○	○			柏崎信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第242号	○				
○	○			株式会社神奈川銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第55号	○				
○	○			金沢信用金庫	登録金融機関	北陸財務局長(登金)第15号	○				
○	○			鹿沼相互信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第221号	○				
○	○			蒲郡信用金庫	登録金融機関	東海財務局長(登金)第32号					

(次ページに続きます)

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

(前ページより続きます)

1 年 決 算 型	年 2 回 決 算 型	為 替 ハ ッ ジ 有 り ・ 1 年 決 算 型	為 替 ハ ッ ジ 有 り ・ 年 2 回 決 算 型	金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会				
						日 本 証 券 業 協 会	資 産 運 用 法 人 一 般 社 団 法 人 協 会	金 融 先 物 取 引 業 協 会	一 般 社 団 法 人 一 種 金 融 商 品 取 引 業 協 会	
○				親善寺信用金庫	登録金融機関	四国財務局長(登金)第17号				
○	○			株式会社関西みらい銀行	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第7号	○		○	
	○			北伊勢上野信用金庫	登録金融機関	東海財務局長(登金)第34号				
	○			北群馬信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第233号				
○	○			きのくに信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第51号				
○	○			キャピタル・パートナーズ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第02号	○			○
○	○			九州FG証券株式会社	金融商品取引業者	九州財務局長(金商)第18号	○			
○	○			九州労働金庫	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第39号				
○	○			京都中央信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第53号	○			
○	○			京都北都信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第54号				
○	○			株式会社きらぼし銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第53号	○		○	
○	○			株式会社きらぼし銀行 (委託金融商品取引業者 きらぼしライフデザイン証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第53号	○		○	
○	○			きらぼしライフデザイン証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第3198号	○			
○	○			株式会社きらやか銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第15号	○			
○	○			桐生信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第234号				
○	○			近畿労働金庫	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第90号				
○	○			熊本第一信用金庫	登録金融機関	九州財務局長(登金)第14号				
○	○			呉信用金庫	登録金融機関	中国財務局長(登金)第25号				
○	○			くんぎん証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2938号	○			
○	○			株式会社群馬銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第46号	○		○	
○	○			興能信用金庫	登録金融機関	北陸財務局長(登金)第19号				
○	○			湖東信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第67号				
○	○			さかみ信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第191号				
○	○			佐野信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第223号				
○	○			さわやか信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第173号	○			
○	○			株式会社三十三銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第16号	○			
○	○			三条信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第244号				
○	○			Jトラストグローバル証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第35号	○	○		
○	○			株式会社滋賀銀行	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第11号	○		○	
○	○			四国アライアンス証券株式会社	金融商品取引業者	四国財務局長(金商)第21号	○			
○	○			四国労働金庫	登録金融機関	四国財務局長(登金)第26号				
○	○			静岡県労働金庫	登録金融機関	東海財務局長(登金)第72号				
○	○			しずおか焼津信用金庫	登録金融機関	東海財務局長(登金)第38号				
○	○			静銀ティーエム証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第10号	○			
○	○			七十七証券株式会社	金融商品取引業者	東北財務局長(金商)第37号	○			
○	○			しなの信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第232号				
○	○			株式会社証券ジャパン	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第170号	○	○		
○	○	○		株式会社荘内銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第6号	○			
○	○			城北信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第147号	○			
○	○			株式会社常陽銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第45号	○		○	
○	○			株式会社常陽銀行 (委託金融商品取引業者 めぶき証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第45号	○		○	
○	○			白河信用金庫	登録金融機関	東北財務局長(登金)第36号				
○	○			新庄信用金庫	登録金融機関	東北財務局長(登金)第37号				
○	○			株式会社スマートプラス	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第3031号	○	○		○
○	○			スルガ銀行株式会社	登録金融機関	東海財務局長(登金)第8号	○			
○	○			諏訪信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第255号				
○	○			静岡信用金庫	登録金融機関	東海財務局長(登金)第43号				
○	○			西武信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第162号	○			
○	○			関信用金庫	登録金融機関	東海財務局長(登金)第45号				
○	○			瀬戸信用金庫	登録金融機関	東海財務局長(登金)第46号	○			
○	○			大熊本証券株式会社	金融商品取引業者	九州財務局長(金商)第1号				
○	○			株式会社第四北越銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第47号	○		○	
○	○			第四北越証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第128号	○			
○	○			大和証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第108号	○	○	○	○
○	○			※右の他に一般社団法人日本STO協会にも加入						
○	○			高崎信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第237号				
○	○			高松信用金庫	登録金融機関	四国財務局長(登金)第20号				
○	○			但馬信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第67号				
○	○			玉島信用金庫	登録金融機関	中国財務局長(登金)第30号				
○	○			知多信用金庫	登録金融機関	東海財務局長(登金)第48号				
○	○			株式会社千葉銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第39号	○		○	
○	○			中央労働金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第259号				
○	○			中国労働金庫	登録金融機関	中国財務局長(登金)第53号				
○	○			東栄信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第172号				
○	○	○	○	東海東京証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第140号	○	○	○	○
○	○			※右の他に一般社団法人日本STO協会にも加入						
○	○			東海労働金庫	登録金融機関	東海財務局長(登金)第70号				
○	○			東京信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第176号	○			
○	○			東京東信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第179号	○			
○	○			東北労働金庫	登録金融機関	東北財務局長(登金)第68号				
○	○	○	○	東洋証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第121号	○			○
○	○			株式会社徳島大正銀行	登録金融機関	四国財務局長(登金)第10号	○			
○	○			栃木信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第224号				
○	○			鳥取信用金庫	登録金融機関	中国財務局長(登金)第35号				
○	○			株式会社トマト銀行	登録金融機関	中国財務局長(登金)第11号	○			
○	○			株式会社富山銀行	登録金融機関	北陸財務局長(登金)第1号	○			
○	○			富山信用金庫	登録金融機関	北陸財務局長(登金)第27号				
○	○			株式会社富山第一銀行	登録金融機関	北陸財務局長(登金)第7号	○			
○	○			豊川信用金庫	登録金融機関	東海財務局長(登金)第54号				

(次ページに続きます)

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

(前ページより続きます)

1 年 決 算 型	年 2 回 決 算 型	為 替 ハ ッ ジ 有 り ・ 1 年 決 算 型	為 替 ハ ッ ジ 有 り ・ 年 2 回 決 算 型	金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会				
						日 本 証 券 業 協 会	資 産 運 用 業 協 会 一 般 社 団 法 人	金 融 先 物 取 引 業 協 会 一 般 社 団 法 人	第 二 種 金 融 商 品 取 引 業 協 会 一 般 社 団 法 人	
○	○			内藤証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第24号	○			○
○	○			株式会社長崎銀行	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第11号	○			
○	○			長野県労働金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第268号				
○	○			長野信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第256号	○			
○	○			株式会社名古屋銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第19号	○			
○	○			奈良信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第71号	○			
○	○			奈良中央信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第72号	○			
○	○			株式会社南都銀行	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第15号	○			
○	○			南都まほろば証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第25号	○			
○	○			新潟県労働金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第267号				
○	○			西尾信用金庫	登録金融機関	東海財務局長(登金)第58号	○			
○	○			西中国信用金庫	登録金融機関	中国財務局長(登金)第29号				
○	○			株式会社西日本シティ銀行	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第6号	○			○
○	○		○	西日本シティ証券株式会社	金融商品取引業者	福岡財務支局長(金商)第75号	○			
○	○			のと共栄信用金庫	登録金融機関	北陸財務局長(登金)第30号				
○	○	○	○	野村證券株式会社 ※右の他に一般社団法人日本STO協会にも加入	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第142号	○	○	○	○
○	○	○	○	八十二証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第21号	○	○		
○	○	○	○	株式会社八十二長野銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第49号	○			○
○	○	○	○	株式会社八十二長野銀行 (委託金融商品取引業者 八十二証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第49号	○			○
○	○			八幡信用金庫	登録金融機関	東海財務局長(登金)第60号				
○	○			浜銀TT証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第1977号	○			
○	○			浜松警田信用金庫	登録金融機関	東海財務局長(登金)第61号				
○	○			播州信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第76号	○			
○	○			飯能信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第203号				
○	○			PWM日本証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第50号	○			○
○	○			株式会社肥後銀行	登録金融機関	九州財務局長(登金)第3号	○			
○	○			株式会社肥後銀行 (委託金融商品取引業者 九州FG証券株式会社)	登録金融機関	九州財務局長(登金)第3号	○			
○	○			姫路信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第80号	○			
○	○			百五証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第134号				
○	○			兵庫信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第81号	○			
○	○			平塚信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第196号				
○	○			ひろぎん証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長(金商)第20号	○			
○	○	○		株式会社広島銀行	登録金融機関	中国財務局長(登金)第5号	○			○
○	○			福井信用金庫	登録金融機関	北陸財務局長(登金)第32号				
○	○			福岡ひびき信用金庫	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第24号	○			
○	○			富士宮信用金庫	登録金融機関	東海財務局長(登金)第65号				
○	○	○	○	PayPay銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第624号	○			○
○	○			PayPay証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2883号	○			
○	○			碧海信用金庫	登録金融機関	東海財務局長(登金)第66号	○			
○	○			株式会社北都銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第10号	○			
○	○	○	○	北洋証券株式会社	金融商品取引業者	北海道財務局長(金商)第1号	○			
○	○			北陸労働金庫	登録金融機関	北陸財務局長(登金)第36号				
○	○			株式会社北海道銀行	登録金融機関	北海道財務局長(登金)第1号	○			○
○	○			北海道労働金庫	登録金融機関	北海道財務局長(登金)第38号				
○	○	○	○	松井証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第164号	○			○
○	○	○	○	マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第165号	○	○		○
○	○	○	○	丸三証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第167号	○	○		
○	○			丸八証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(登金)第20号	○			
○	○			三島信用金庫	登録金融機関	東海財務局長(登金)第68号				
○	○			水島信用金庫	登録金融機関	中国財務局長(登金)第48号				
○	○	○	○	株式会社三井住友銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第54号	○			○
○	○			三井住友信託銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第649号	○	○		○
○	○	○	○	三菱UFJeスマート証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第61号	○	○		○
○	○	○	○	株式会社三菱UFJ銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第5号	○			○
○	○	○	○	株式会社三菱UFJ銀行 (委託金融商品取引業者 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第5号	○			○
○	○	○	○	三菱UFJ信託銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第33号	○	○		○
○	○			※右の他に一般社団法人日本STO協会にも加入	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2336号	○	○		○
○	○			株式会社みなど銀行	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第22号	○			○
○	○			株式会社宮崎太陽銀行	登録金融機関	九州財務局長(登金)第10号	○			
○	○			moomoo証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第3335号	○	○		
○	○	○	○	株式会社武蔵野銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第38号	○			
○	○			明和證券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第185号	○			
○	○			めぶき証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第1771号	○			
○	○			大和信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第88号	○			
○	○			株式会社山梨中央銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第41号				
○	○			株式会社UJ銀行 (委託金融商品取引業者 きらぼしライフデザイン証券株式会社) (オンラインサービス専用)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第673号	○			
○	○	○	○	楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○		○
○	○			留明信用金庫	登録金融機関	北海道財務局長(登金)第36号				
○	○	○	○	ワイエム証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長(金商)第8号	○			

※販売会社によっては取扱いを中止している場合がございます。

(2026年4月20日現在、50音順)